

C型肝炎ウイルスが消えても 発がん予備軍



打田佐和子

大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学

本日のおはなし

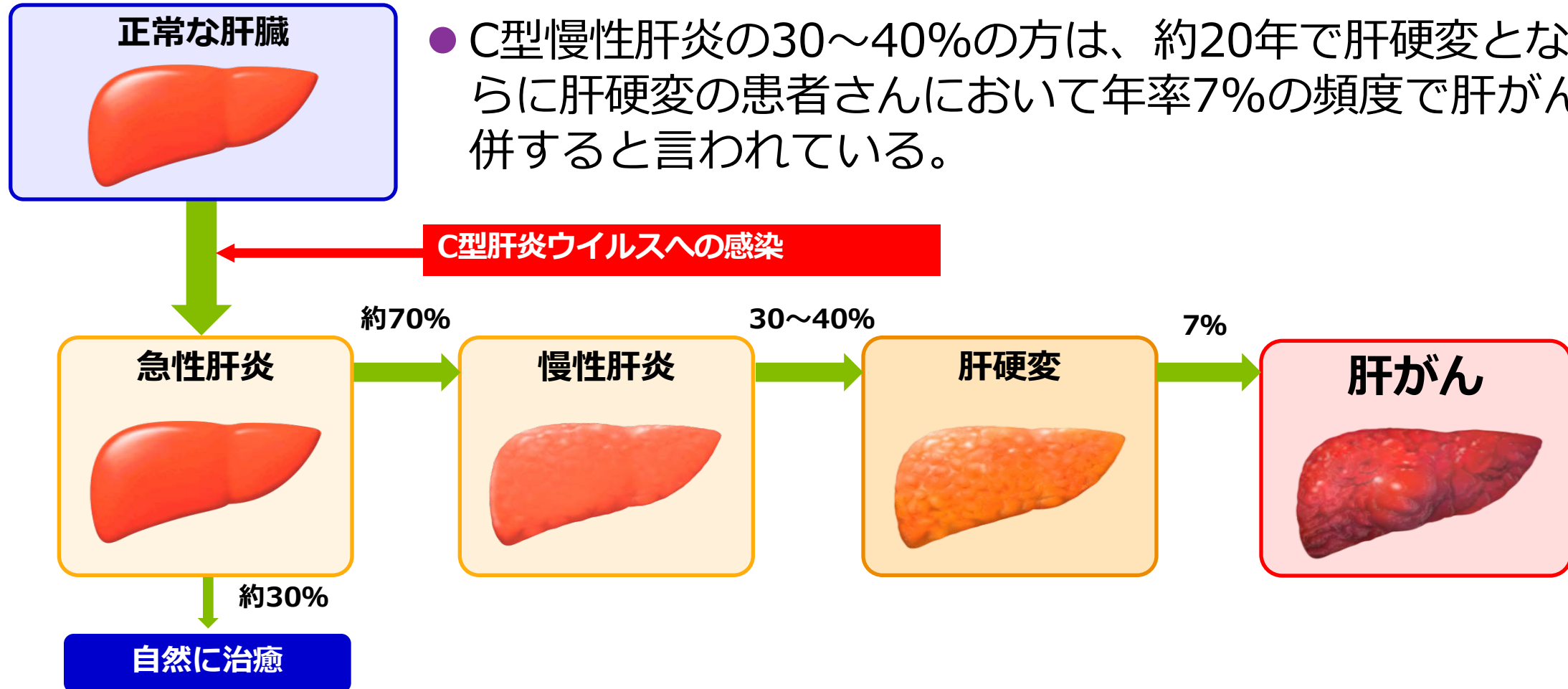
1. C型慢性肝炎とは
2. C型慢性肝炎の治療
3. C型肝炎ウイルスが消えても肝がん予備軍

C型慢性肝炎とは

- C型慢性肝炎は、C型肝炎ウイルス（hepatitis C virus : HCV）が肝臓に感染し続けて、炎症を起こす疾患である。
- HCVの感染によって、肝細胞の破壊と再生が繰り返されるため、徐々に肝臓の細胞や遺伝子がダメージを受けて、肝硬変や肝がんを発症しやすくなる。
- C型慢性肝炎には自覚症状がほとんどない。黄疸などの症状が出現した場合は、肝硬変などの病態が進行している可能性がある。
- 肝硬変や肝細胞がん（HCC）への進展を防ぐためには、抗ウイルス治療によるHCVの排除が必要である。

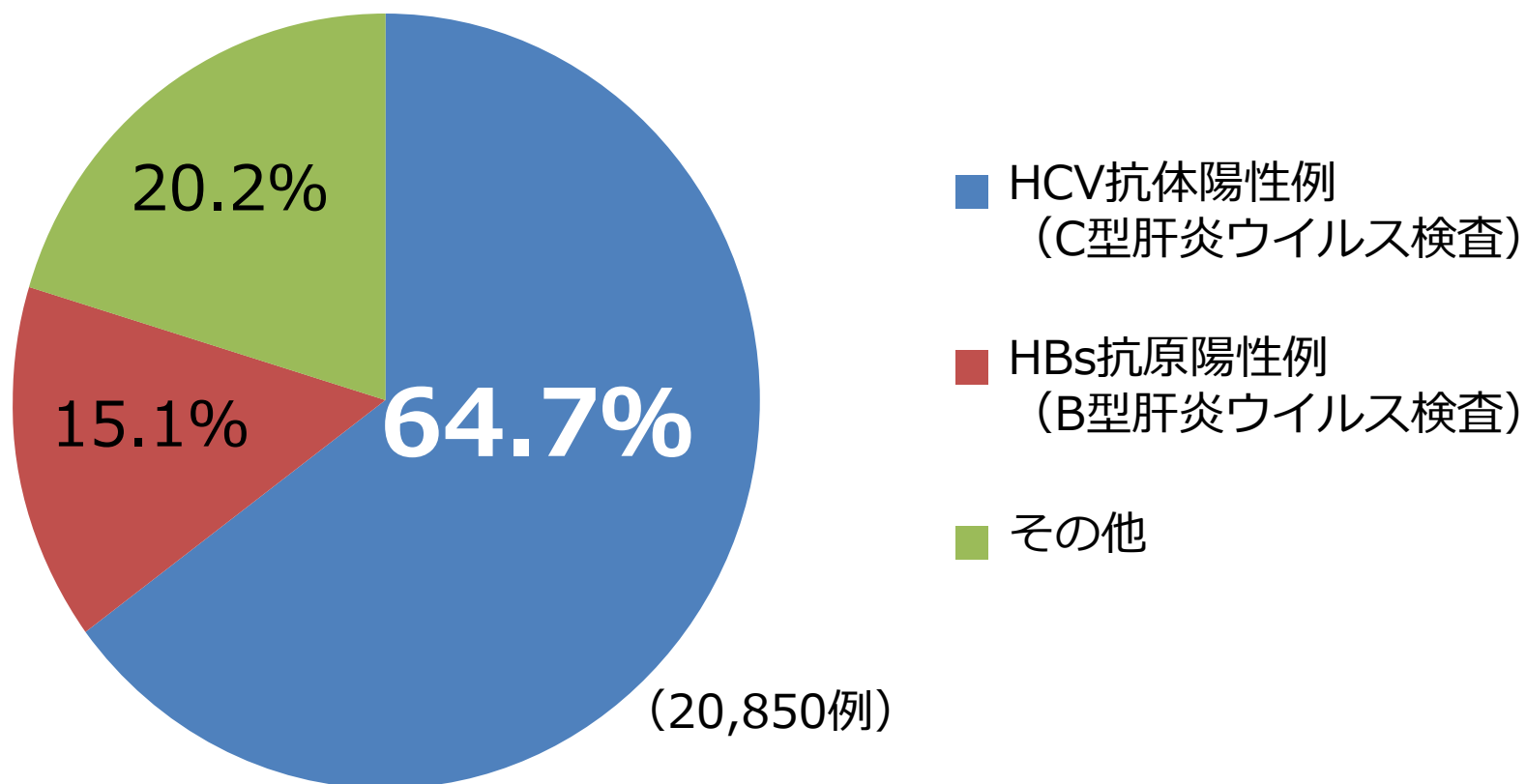
C型肝炎の自然経過

- C型肝炎ウイルスに感染した約70%の方が、慢性肝炎になる。
- C型慢性肝炎の30～40%の方は、約20年で肝硬変となり、さらに肝硬変の患者さんにおいて年率7%の頻度で肝がんが合併すると言われている。



C型肝炎と肝がん

肝がんの原因



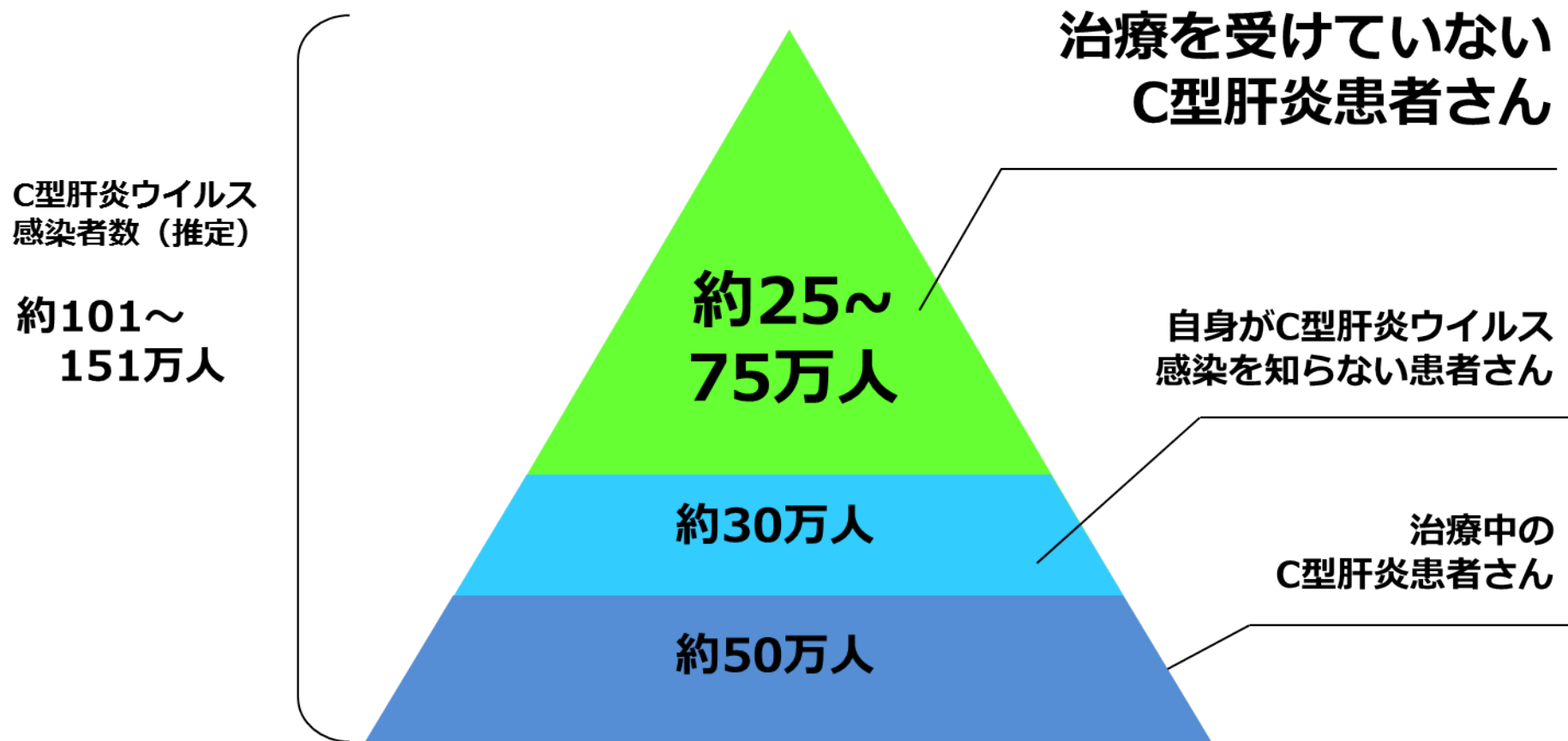
日本におけるC型肝炎ウイルス感染者の推計

- C型肝炎と診断されている方、あるいはご本人が気づかないうちにC型肝炎ウイルスに感染している方の合計。

101万人
～151万人



わが国の未治療のC型肝炎患者さんは 最大で75万人と推測される



C型肝炎の主な感染経路

- C型肝炎ウイルスは血液を介して感染する。
- 主な原因は、感染している人の血液を用いた輸血、血液製剤、ウイルスで汚染した注射器の使用など。
- その他、消毒をしない器具を用いた刺青やピアスも原因となる。



■輸血や血液製剤



■注射器の使いまわし



■刺青

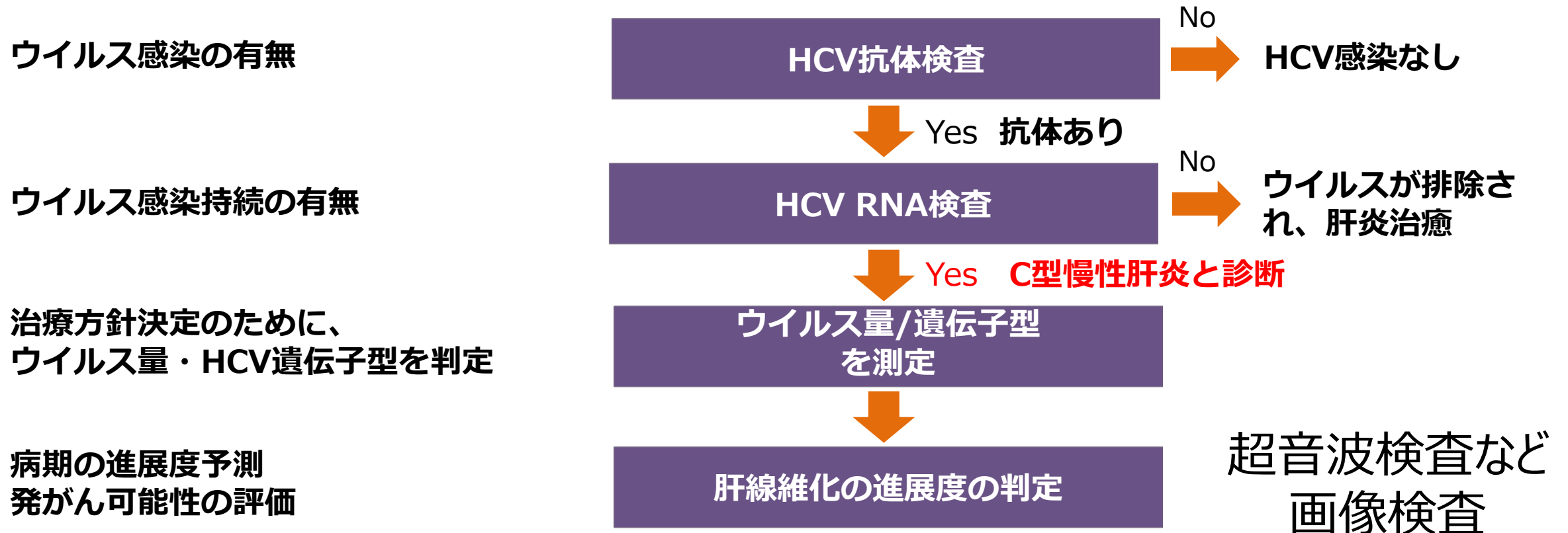


■ピアスの穴をあける

C型肝炎はどうやって検査・診断される？

～血液検査と画像検査～

- C型慢性肝炎の診断は血液検査と画像検査によって行う。
- 持続する肝機能異常がある場合、C型慢性肝炎を疑い、C型肝炎ウイルス（HCV）抗体検査を行う。



まとめ 1

- C型慢性肝炎は、自覚症状がなくても肝硬変や肝がんに進展することがあります。
- C型肝炎ウイルスの感染の有無を知るには、まずHCV抗体検査を受けましょう。

本日のおはなし

1. C型慢性肝炎とは
2. **C型慢性肝炎の治療**
3. C型肝炎ウイルスが消えても肝がん予備軍

C型慢性肝炎治療はなぜ必要？



痛くもしんどくもないのに（自覚症状ないのに）

1. 肝硬変への進展を防ぐ
2. 肝がんを防ぐ



肝がんになりやすい方の特徴

C型肝炎における肝がん発症に関連する因子

- ・ 肝硬変
- ・ 高齢
- ・ 男性
- ・ 常習飲酒歴
- ・ 血清ALTの高値（組織学的活動性）
- ・ 糖尿病、肥満（高インスリン血症）
- ・ 鉄蓄積、酸化ストレス

C型肝炎ウイルスを標的とした 薬剤の開発

Direct **A**cting **A**ntivirals (DAA)
直接作用型抗ウイルス剤

C型肝炎ウイルスは消せます！

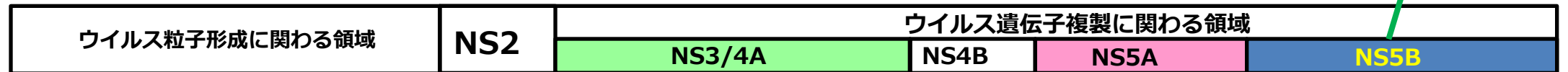
DAA

C型肝炎ウイルス蛋白に対してDAAが作用する場所

働き



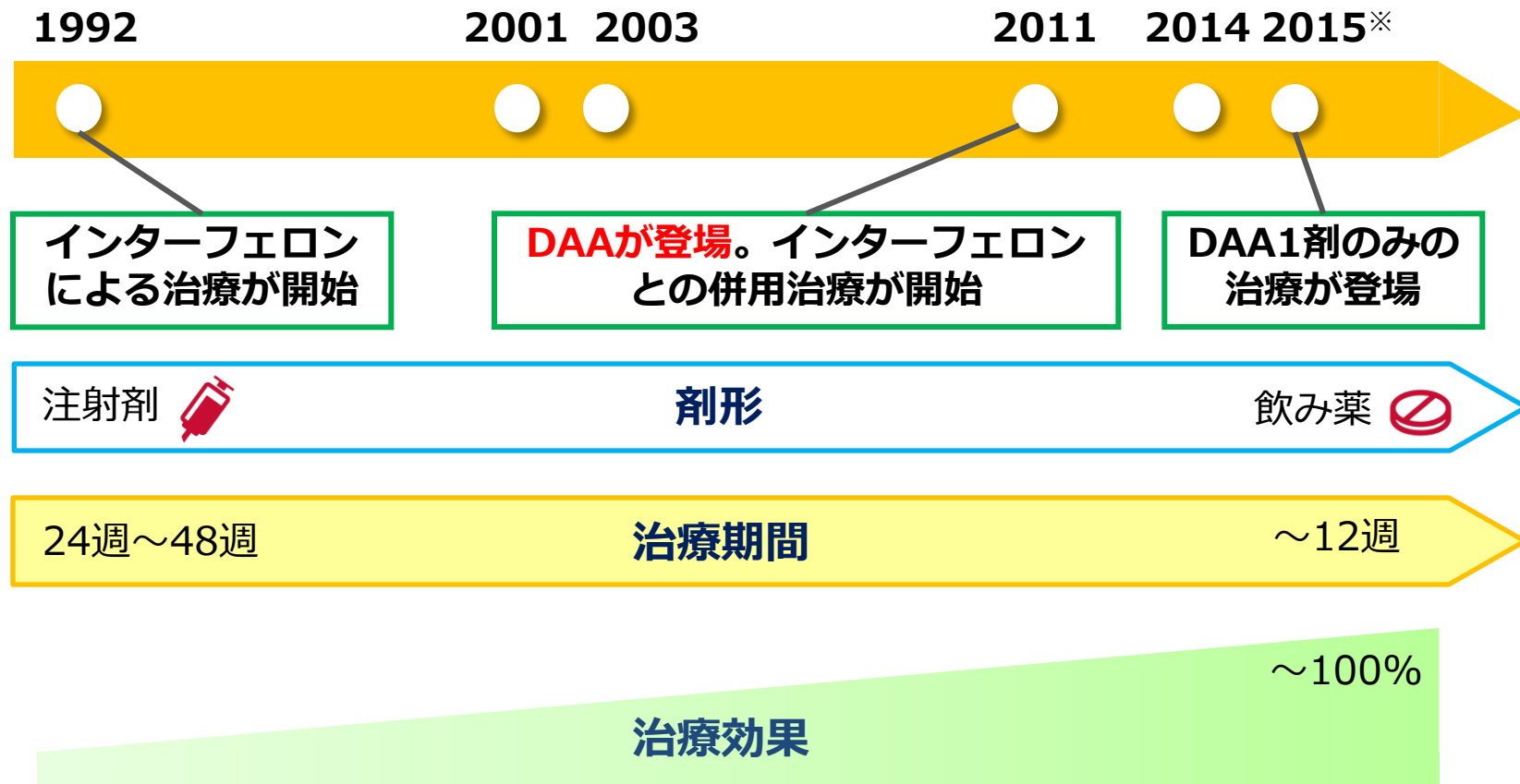
C型肝炎ウイルス蛋白



DAA

C型肝炎治療とその進歩

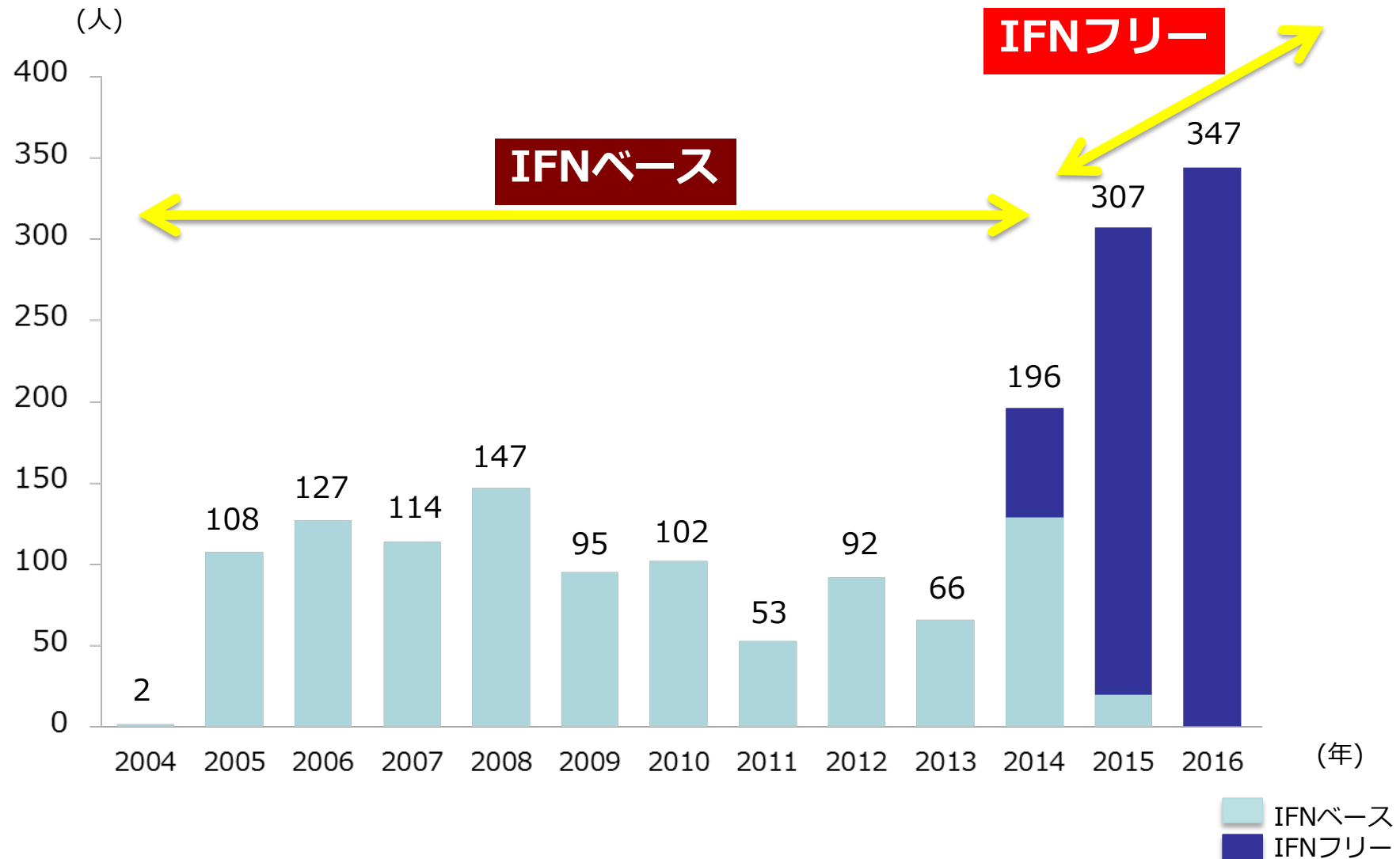
C型慢性肝炎治療（ジェノタイプ1型）の変遷



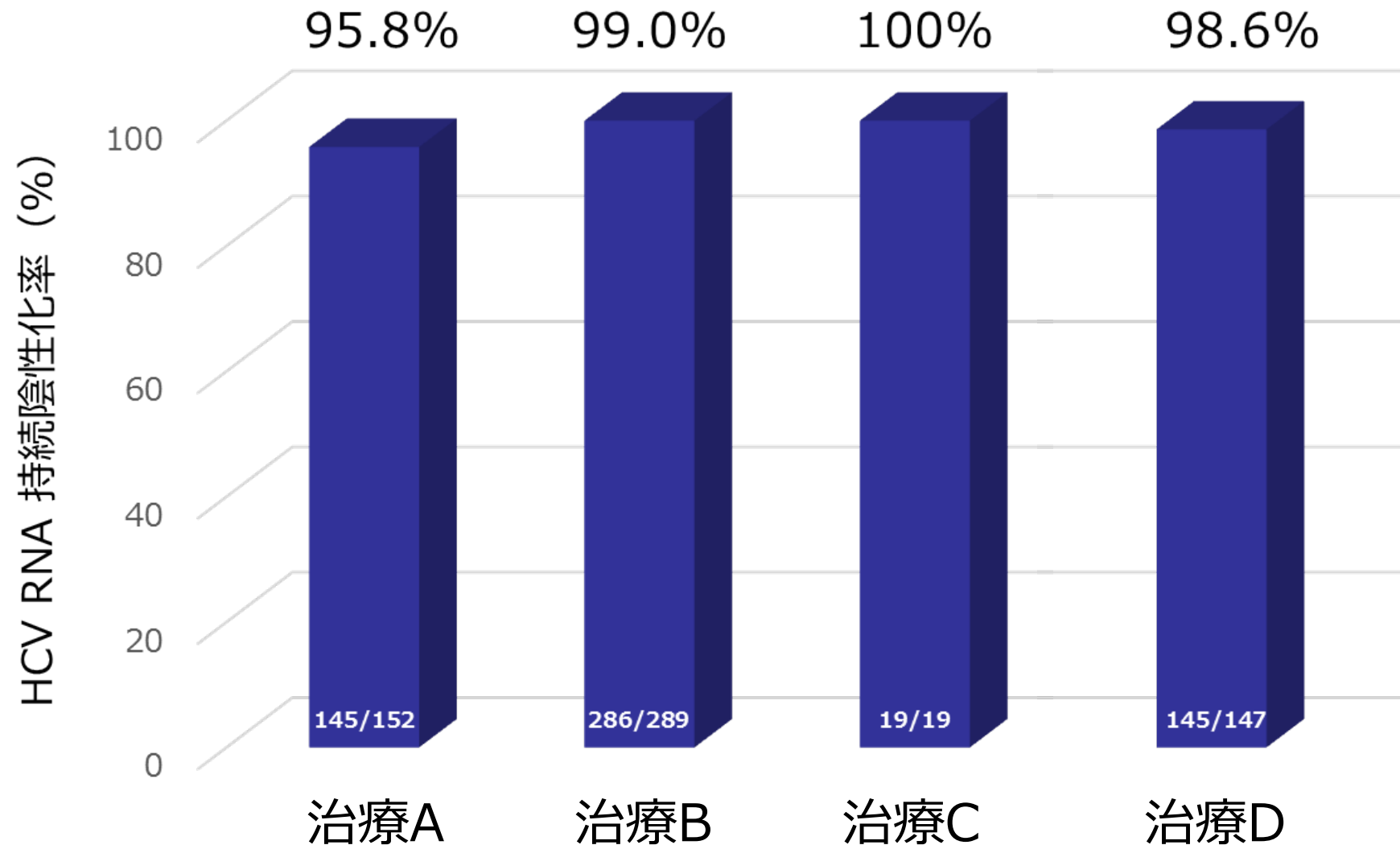
C型肝炎の治療は、
進歩し続けています

※：2015年以降も、DAAのみの新たな治療が登場しています。

当院における抗HCV療法導入数の推移

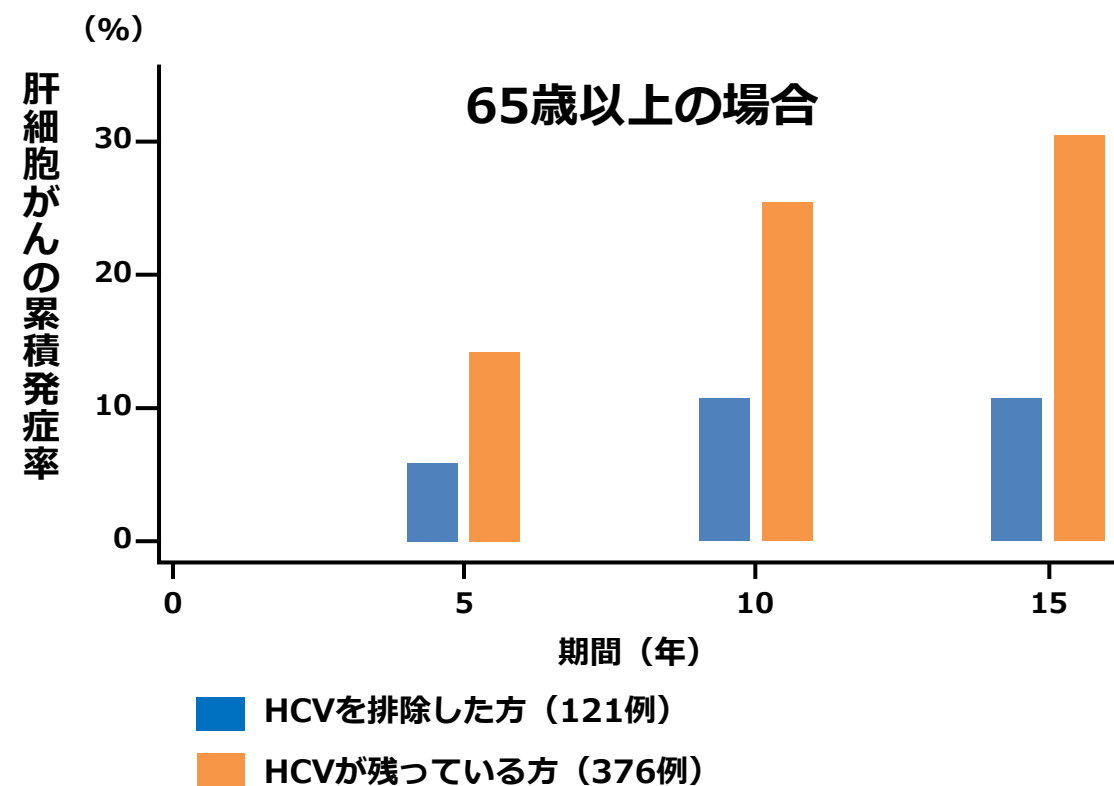
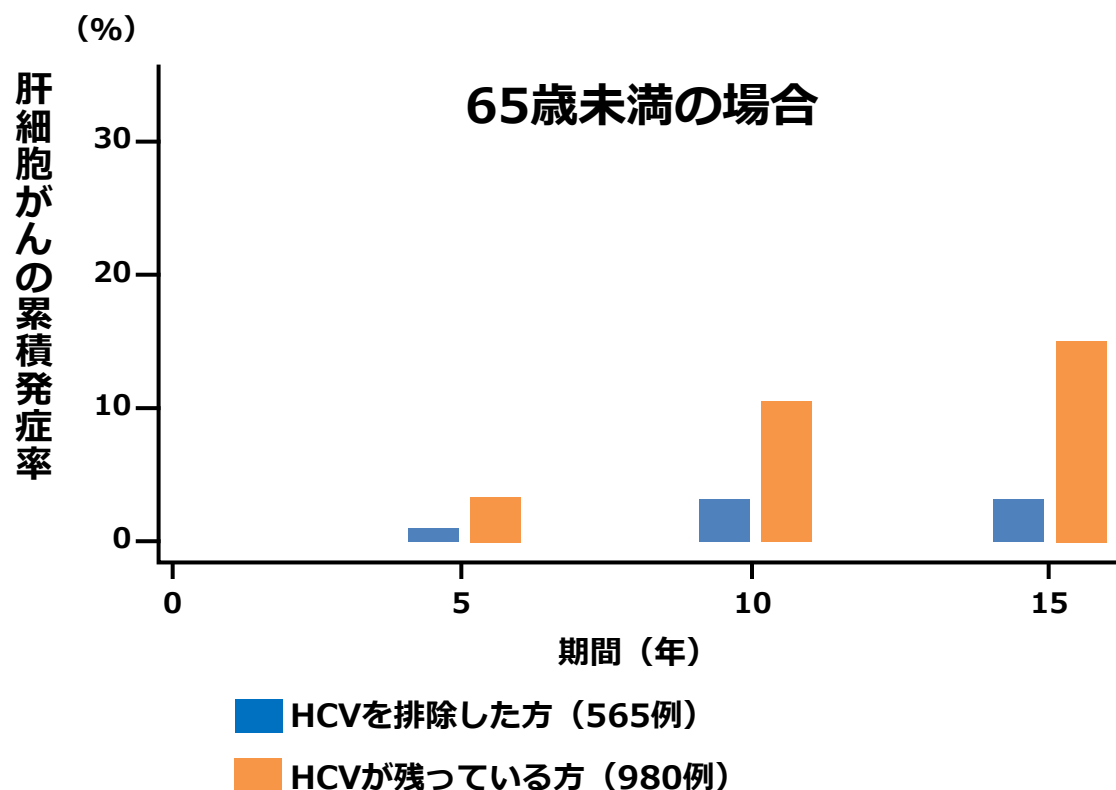


当院におけるDAA治療の成績



HCVを排除すると肝がんの発症率は低下します

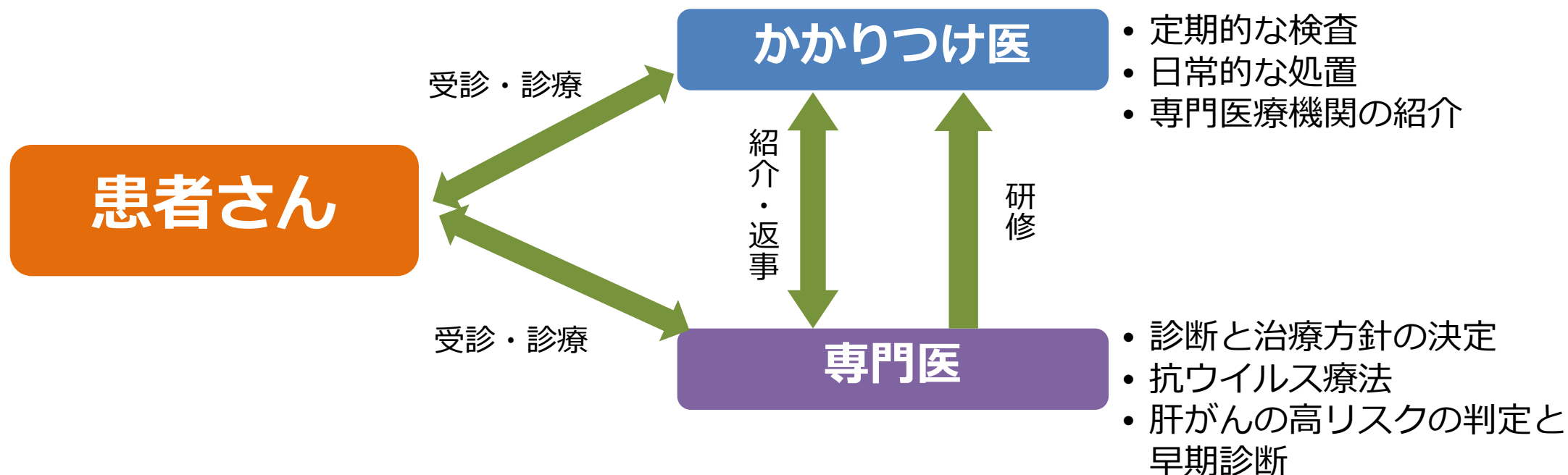
C型肝炎ウイルス（HCV）を排除できた方と 排除できなかった方の肝細胞がん発症率の比較



かかりつけ医と専門医による治療の連携

一般的に、C型慢性肝炎の治療はかかりつけ医と肝炎治療の専門医が連携して進めます。

治療を希望する場合は、かかりつけ医に相談することで、お住まいの地域の専門医を紹介してもらうことができます。



まとめ2

- 肝硬変や肝がんへの進展を予防するためには、C型肝炎ウイルスの排除が必要です。
- C型肝炎ウイルスは、DAAで排除できます。
- かかりつけ医や肝疾患相談センターに相談し、肝臓専門医を受診して、あなたにあった治療を受けましょう。

本日のおはなし

1. C型慢性肝炎とは
2. C型慢性肝炎の治療
3. **C型肝炎ウイルスが消えても発がん予備軍**

C型肝炎ウイルスが消えれば、
肝臓病は完治したのでしょうか？

HCV排除後の肝細胞癌

IFN治療を受けたC型慢性肝疾患患者 1124例

HCV排除 373例

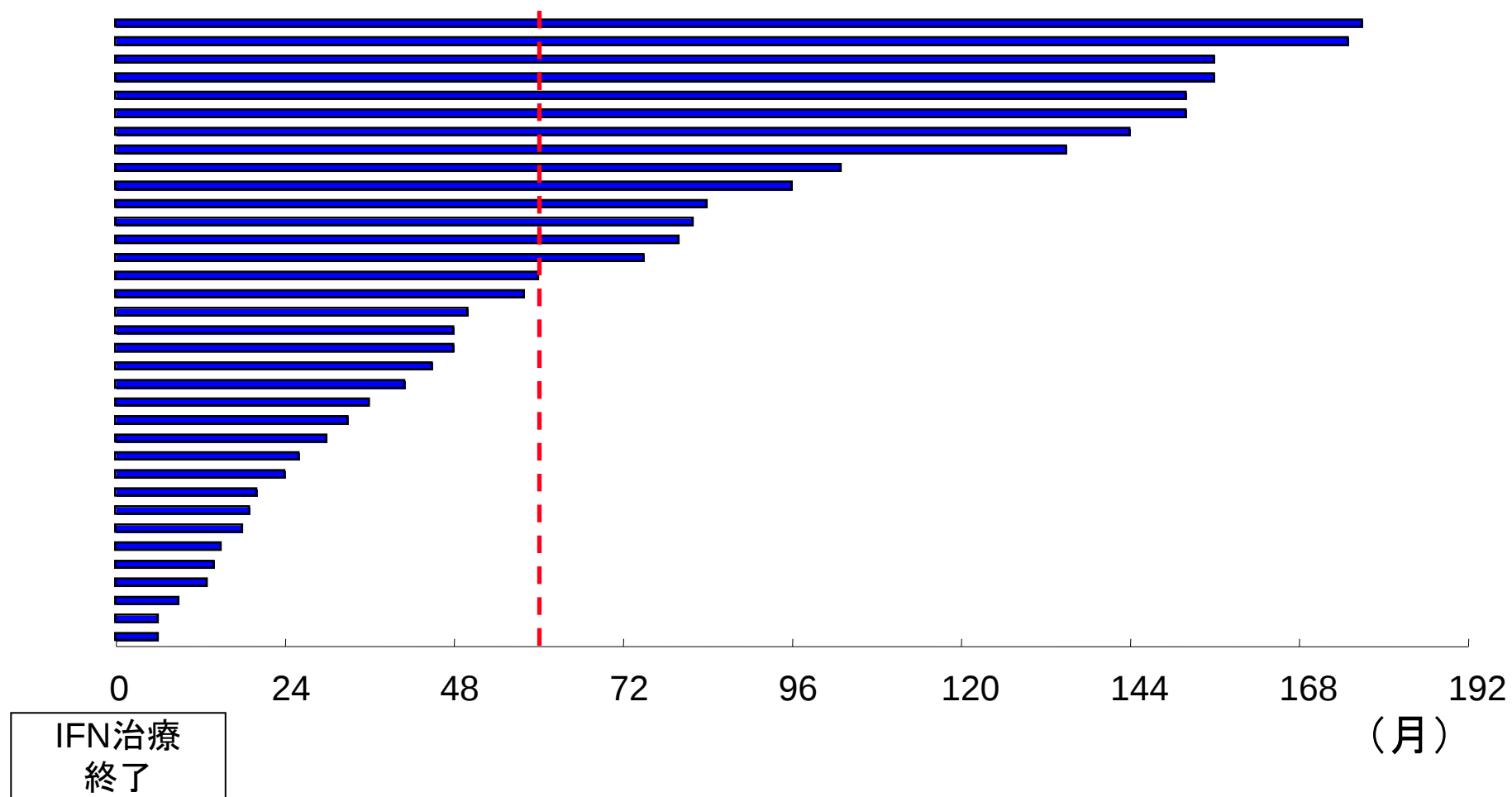
HCV非排除 751例

平均観察期間 66ヵ月

**HCC 13例
(3.5%)**

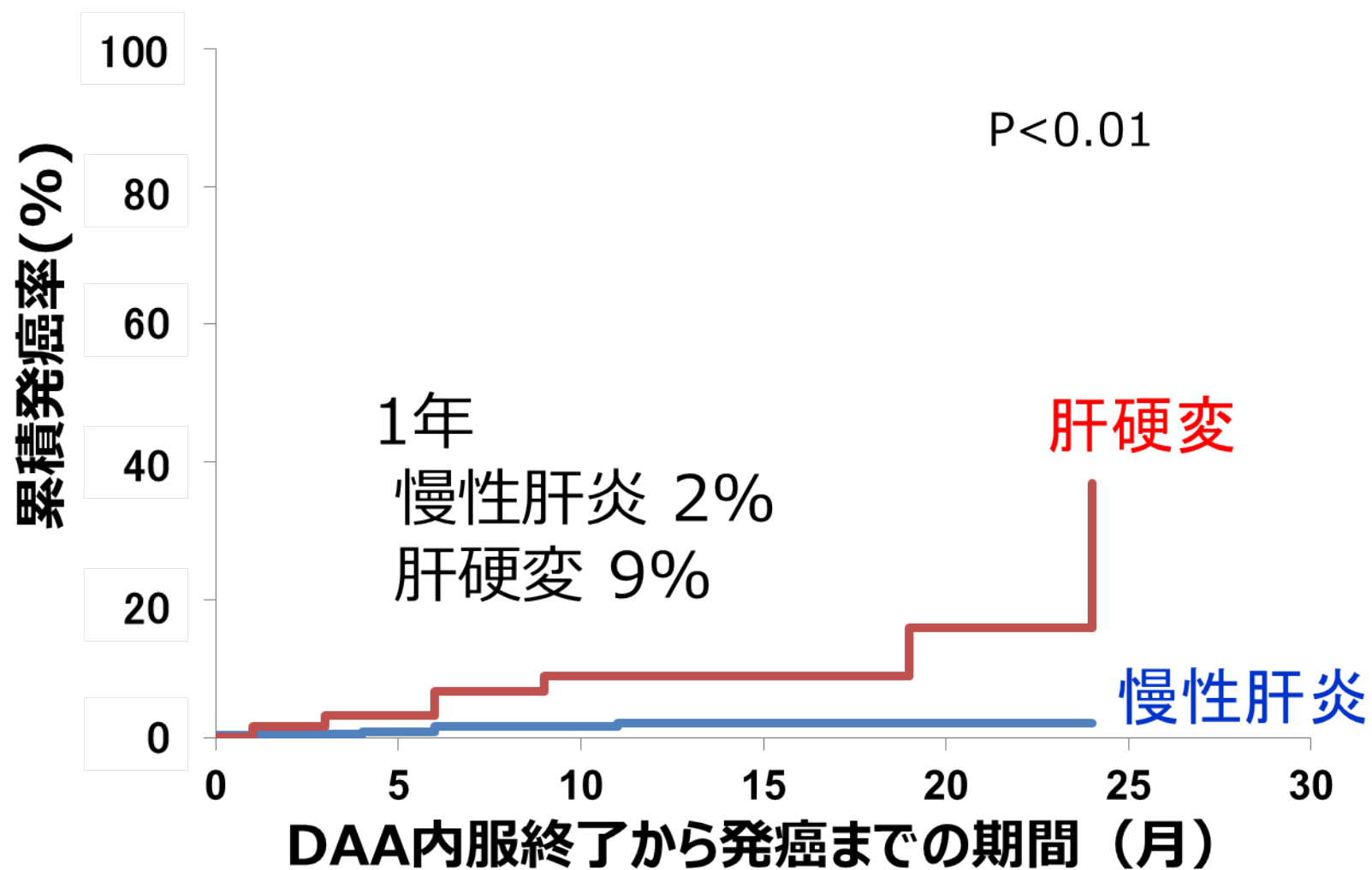
**HCC 61例
(8.1%)**

HCV排除後の肝細胞癌



5年以上経過しての肝発癌もある

DAA治療後早期の肝発癌



発癌しても早期発見すれば根治的な治療が可能です



まとめ 3

- ウイルスが排除できても、肝がん発症の可能性がゼロになったわけではありません。
- 定期的に検査し、肝がんが発症していないか、経過を観察する必要があります。
- 治療終了後も、主治医の指示どおりの定期的な通院が必要です。